

# 平成28年度施政方針

3月2日(水)から10日(木)まで、平成28年大衡村議会第1回定例会が開会され、初日に萩原村長が平成28年度村政運営に係る施政方針を述べましたので、主な施策の概要についてお知らせします。



## みんなで楽しく協力しながら活躍できるまちづくり

### 農林業(創意と工夫による農林業の復活)について

昨年9月11日の関東・東北豪雨では、村内の農地や農業用施設に多くの被害が発生し、現在もその復旧工事が行われております。水路や農道の被災箇所につきましては、村単独事業として復旧を進めており、また、個人所有の農業用施設につきましては、復旧事業費の80%を補助し、できる限りの支援を実施しているところであります。TPPの大筋合意による先行き不安や、米価低迷による経営の課題など、農業を取り巻く環境は益々厳しくなるものと思われ、昨年度開催した「大衡村の農業を考える会」や、12月

に地区ごとに開催した「大衡村の農業を考える懇談会」では、今後の農業について多くのご意見を頂戴したところであり、頂いたご意見が一つでも具現化できるよう、関係機関・団体、そして農家の皆さんとともに考えてまいります。

### 工業(元気ある工業)について

企業誘致につきましては、昨年は大衡工業団地内に立地した、農業機械の大手メーカーであり農業の近代化に貢献してきた「株式会社タカキタ」は、今年4月の営業開始に向けて準備が進められており、農業振興と企業誘致を最重要施策としている本村にとって大変強いものであります。また、企業誘致による税収の増加は、住民の福祉や、村内インフラの整備、教育の向上、農業振興など村政運営全般に活かされるものですので、引き続き村の立地環境を広くPRしてまいります。

### 新エネルギー(多彩な資源の利活用)について

「大衡村バイオマスタウン構想」に基づき、現在「廃食用油の回収事業」「生ゴミ分別回収堆肥化の実証事業」を行っています。村内にある様々なエ

ネルギーを見直すとともに、再生可能な有機性資源を活用しながら、地球温暖化防止やCO2削減などの環境負荷の低減を促し、環境にやさしい地域資源循環型のまちづくりを進めてまいります。

### 商業(地域特性を活かした商業)について

「くろかわ商工会」への運営支援につきましては、会員への的確な経営指導ができるよう、引き続き郡内3町と連携を図りながら、商工業の振興に向け商工会への支援と協力を継続してまいります。

### 観光(地域資源を活用した観光)について

「万葉クリエートパーク」や「おおひら万葉パークゴルフ場」、「昭和万葉の森」、「達居森遊歩道と牛野ダム湖畔自然公園」など本村固有の観光資源に加え、毎年恒例の「万葉まつり」や「ふるさと祭り」、そして、立地企業の増加などにより、今後も村を訪れる方が益々増加するものと予想しております。本年7月から9月までの3カ月間、県内一円で実施される「仙台・宮城「伊達な旅」夏キャンペーン2016」とあわせて、村への観光流入人口を増やすべく誘客に努めてまいります。



▲にぎわう牛野ダム湖畔自然公園

## みんなで協力し、地域で支え合う福祉のまちづくり

### 福祉(共に支え合う福祉)について

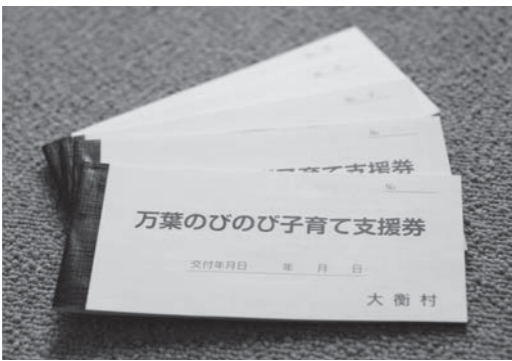
次世代を担う子どもたちがすくすく成長することを願い、万葉すくすく子育てサポート事業では、出生から18歳までの子どもの医療費完全無料化を堅持し、安心して子育てができる環境づくりの充実に、引き続き取り組んでまいります。

高齢者福祉につきましては、今後より一層高齢化が進展していく中で、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう、「介護・医療・予防・生活支援・住まい」などのサービスを一体的かつ継続的に提供する「地域包括ケア」の構築を目指してまいります。

「子ども子育て支援新制度」により、新たに待機児童の区分に含まれることとなる求職活動中の世帯のお子さんの保育につきましては、地域活動支援センターの一部を改修し、地域型保育所として6月に開所し、待機児童の解消を図りたいと考えております。

障がい者福祉につきましては、障がい者施策の基本理念である「誰もが地域で自分らしく安心して生活できるまちをおひら」を実現するため、村独自事業の「利用者負担補助成事業」や「障がい子育て支援事業」を継続するとともに、地域活動支援センターの充実を図り、身体・知的・精神障がい者の地域活動の促進に取り組んでまいります。また、障がい者の社会参加促進を図るうえで最適と思われる「多機能型障がい者福祉施設」の誘致に向け積極的に取り組んでまいります。

母子保健につきましては、安心して子どもを産み育てられる環境づくりとして、「妊婦健診の公費助成」の継続と、タクシー利用とミルク・紙おむつも購入できる「万葉のびのび子育て支援事業」を実施してまいります。また、本年度より新たな事業として、妊娠前から子育て期にわたる総合的な相談支援を行う「産前・産後サポート事業」と、心身のケアや育児をサポートする「産後ケア事業」を実施し、健康な出産、育児ができるよう切れ目のない支援を実施してまいります。



▲利用先が拡大した「万葉のびのび子育て支援券」

### 医療(健康を支える医療)について

国民健康保険の保険料につきましては、3年連続となる課税限度額の見直しと、保険料の5割軽減・2割軽減の軽減判定の基準額が引き上げられるなど、低所得者に対する財政支援が強化されております。

村では、国保財政基盤の安定化を最優先課題とし、さらなる医療費適正化のため、40歳から74歳までを対象とす

る特定健康診査及び特定保健指導により、生活習慣病の予防や早期発見のための受診体制を充実させるとともに、未受診者へは積極的な勧奨を行い、被保険者の健全な生活習慣の確立に向けての普及活動を行ってまいります。後期高齢者医療制度につきましては、対象者の大幅増加により、一人当たりの医療費も年々増加する傾向にあり、医療費抑制が強く求められています。被保険者が自立して日常生活を送ることができるよう「健康寿命」の延伸と医療費の適正化を目標に、被保険者の生活習慣病疾患の発症・重症化予防や心身機能低下防止のため、被保険者の医療情報、健康診査情報等を活用した効果的な保険事業を実施することとしております。

## みんなで学び、みんなで育む、生涯学べるまちづくり

### 生涯学習(生涯活かせる学習活動)について

生涯学習の推進につきましては、小中学生の通学合宿などを含む青少年の体験学習、地域理解、文化活動など幅広い学習機会の提供を継続するとともに、地域全体で子どもを育てる体制の整備を図るため、家庭・学校・PTA・子ども会育成会など関係機関・諸団体が連携して、地域一丸となった教育活動を実践してまいります。



▲元気な声がひびく通学合宿

## 学校教育(豊かな人間形成のための教育)について

小学校におきましては、普段の学校教育の中で基本的な生活習慣や社会生活に必要なルール、マナー、モラルの指導とともに、自ら考え、判断し、行動するといった自ら学ぶ力、いわゆる「生きる力」を身に付けさせ、心身ともに健康な子どもの育成を目標に、創意・工夫を活かしたきめ細かな指導により学習意欲と学力向上に努めてまいります。

中学校におきましては、健康で心豊かな生徒を育みながら、生徒の思考課程に沿った学習指導の改善を行い、確かな学力の向上を目指すとともに、個性を生かす教育の充実、そして人間的ふれあいを大切にし、「自学・自律・敬愛」を目標とし、思考・創造・表現